

## **7. 主要街路樹の 管理・剪定方法等**



## 7. 主要街路樹の管理・剪定方法等

埼玉県内の街路樹のうち、管理本数の多い14種について、特性を整理した一覧と、各樹木の詳細情報及び剪定を実施する上でのポイントを示す。

## 7.1 主要街路樹一覧

埼玉県における主な街路樹の維持管理に参考となる情報【主要14種】



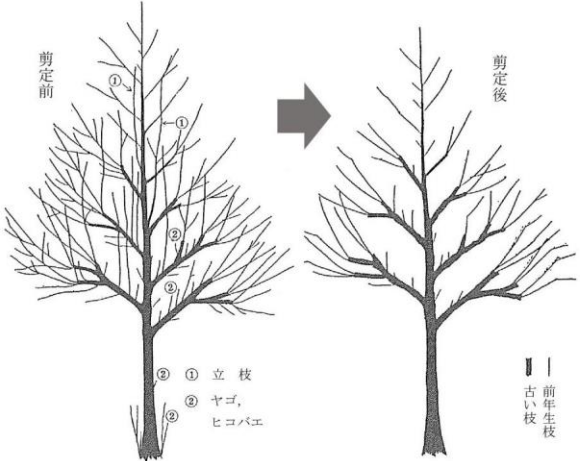


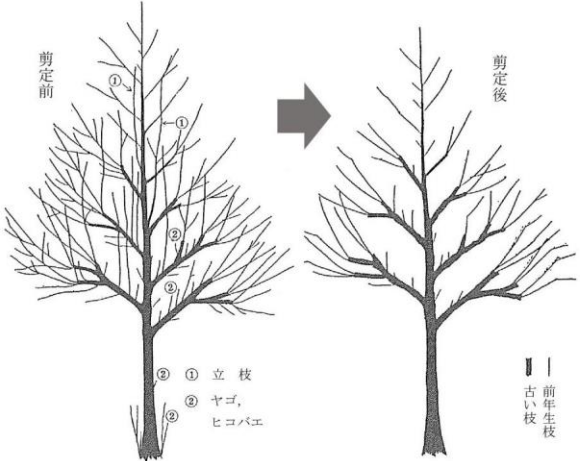


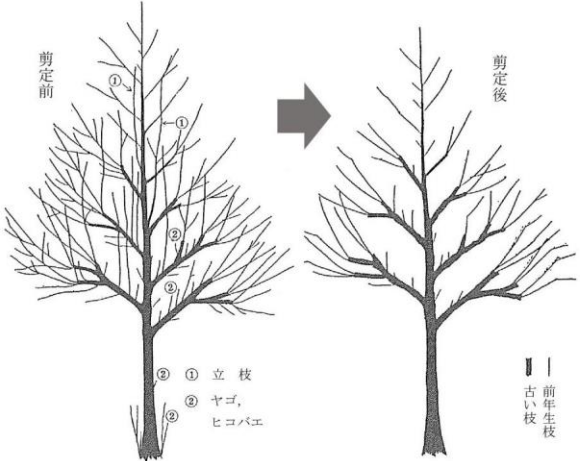
																									H26路樹診断マニュアル資料（東京都）					
設計条件：																														
樹種特性							空間適応性				環境適応性						環境・機能特性				景観特性				管理計画				管理特性	
No.	樹種	常緑樹／落葉樹	針葉樹／広葉樹	剪定標準樹形	成長速度	陰樹／陽樹	在来／外来	自然樹高	樹高限界（剪定）	（枝張り自然枝張り）	（枝張り限界）	耐乾性	耐湿性	耐暑性	耐寒性	耐煙性	耐風性	延焼防止	大気浄化	緑陰	新緑	花	実	紅葉	シンボル性	耐剪定性	剪定頻度	落葉	病虫害	備考
1	イチョウ	落	針	△	早	陽	外	30m	15m	0.8	0.4	やや有	やや有	有	有	有	有	有	やや有				○	○	○	有	3～5年に1回	多	少	黄葉、かぶれ（実＝銀杏）
2	エンジュ	落	広	○	早	陽	外	15m	8m	1.0	0.6	やや有	やや有	有	有	やや有	やや有		やや有	有					○	有	3～5年に1回	少	多	出芽の黄緑色が美しい、がんしゅ病。★幹折れ・枝折れが多く注意が必要
3	カエデ類	落	広	○	早	中	自	10m	10m	1.0	0.8	やや有	無	やや有	有	無	無		やや有	やや有	○			○		やや有	毎年	少	多	紅葉する、枝が斜に伸び樹形が不統一、乾燥・日焼けに注意
4	クスノキ	常	広	○	早	中	在	20m	10m	1.2	0.8	やや有	無	有	やや有	有	やや有		やや有	有	○				○	有	3～5年に1回	少	少	樹勢が強い、葉が黄緑色、緑陰効果大、炭疽病注意、雪で枝折れ
5	ケヤキ	落	広	▽	早	陽	自	30m	20m	1.0	0.8	やや有	無	やや有	やや有	無	有		有	有	○			○	○	やや有	3～5年に1回	多	少	扇状の木姿が特徴、枝が上で広がりが緑陰効果大★枝折れ多く注意が必要
6	サクラ類	落	広	▽	早	陽	在	10m	10m	1.2	1.2	やや有	無	やや有	やや有	無	やや有		やや有	有		○		○		無	毎年	少	多	サクラの代表。寿命短い。★枝先が垂れ、病虫害を受けやすく、注意が必要
7	サルスベリ	落	広	不整形	早	陽	外	15m	8m	1.2	0.8	有	有	有	無	やや有	やや有		有	無		○			有	3～5年に1回	少	多	夏の間花が咲き続ける、幹肌が特徴的、カイガラムシ注意	
8	スギ	常	針	△	早	陽	在	30m		0.6	0.6	やや有	有	やや有	有	無	無			無						有	3～5年に1回	少	少	枯れると小枝ごと落ちる 大気汚染、煙害に弱い
9	スズカケノキ	落	広	○	早	陽	外	30m	15m	1.0	0.6	やや有	やや有	有	有	有	無		やや有	やや有			○	○	有	毎年	多	多	大きな葉、毛虫被害大、カミキリムシ被害	
10	トウカエデ	落	広	○	早	陽	外	15m	8m	1.0	0.6	やや有	やや有	やや有	やや有	有	有		やや有	やや有	○			○	○	有	毎年	少	多	紅葉する、アブラムシがつく
11	トチノキ	落	広	▽	早	陰	自	20m	15m	0.8	0.6	無	やや有	無	有	やや有	無		やや有	有		○	○		○	やや有	3～5年に1回	多	少	葉が大きく落葉処理が難しい、黄葉する。
12	ハナミズキ	落	広	○	遅	中	外	10m	5m	1.0	1.0	やや有	やや有	やや有	やや有	やや有	やや有			無		○	○	○		やや有	3～5年に1回	少	多	夏の高温乾燥に注意、枯れやすい、春に白花・桃花・赤花、花粉アレルギー
13	マテバシイ	常	広	○	早	陽	自	10m	5m	1.2	0.8	やや有	やや有	有	やや有	有	有	有	やや有	有						有	3～5年に1回	少	少	葉が大きい、木姿が丸くまとまる、寒い時期の剪定注意、臨海地帯、枝折れあり
14	ユリノキ	落	広	○	早	陽	外	30m	20m	0.8	0.6	やや有	無	やや有	やや有	有	無		有	やや有		○		○	○	やや有	3～5年に1回	多	少	樹形がまとまりやすい、黄葉、5,6月に黄色い花

※カエデ類にはイロハモミジ、カエデ、ノムラモミジ、モミジ、ヤマモミジを含む。  
サクラ類にはウワミズザクラ、サクラ、ソメイヨシノ、ヤマザクラを含む。

一覧の項目説明

項目	区分	表記方法
樹種	標準和名または品種名または総称	—
常緑樹／落葉樹	常緑樹か落葉樹か	常 落
針葉樹／広葉樹	針葉樹か広葉樹か	針 広
剪定標準樹形	①剪定時の標準的な樹姿および②主たる幹について1本直立させて仕立てる樹種かどうか	芯を立てる広卵円か球形 ○ 芯を立てない広卵円か球形 ○ 芯を立てる卵円形 ○ 芯を立てない卵円形 ○ 芯を立てない円柱形 ○ 芯を立てる杯型 ○ 芯を立てない杯型 ○ 芯を立てる円錐形 △ 芯を立てる枝垂形 ○ 芯を立てない不整形 ○
成長速度	若木から成木になる速度が速い、普通、遅いか。	早 普 遅
陰樹／陽樹	日陰に耐えるか日当たりを好むか中間か	陰 中 陽
在来／外来	日本に自生する種 外国から移入した種	在 外
自然樹高	単木で剪定せずに大きくなると考えられる樹高について5・10・15・20・30mの内外で区分	5m 10m 15m 20m 30m
樹高限界（剪定）	剪定で健全に維持できると考えられる樹高について5・8・10・15・20m内外以上で区分	5m 8m 10m 15m 20m
自然枝張（枝張り／樹高）	単木で剪定せずに大きくなると考えられる枝張について自然樹高に対する比率0.6・0.8・1.0・1.2内外に区分	0.6 0.8 1.0 1.2
枝張限界（剪定）（枝張り／樹高）	剪定で健全に維持できると考えられる大きさについて自然樹高に対する比率で0.4・0.6・0.8・1.0・1.2内外に区分	0.4 0.6 0.8 1.0 1.2
耐乾性	乾燥に対する耐性について、有る・やや有・無いの3段階で区分	有り やや有 無い
耐湿性	停滞水に対する耐性について、有る・やや有・無いの3段階で区分	有り やや有 無い
耐暑性	暑さに対する耐性について、有る・やや有・無いの3段階で区分	有り やや有 無い
耐寒性	寒さに対する耐性について、有る・やや有・無いの3段階で区分	有り やや有 無い
耐煙性	大気汚染にに対する耐性について、有る・やや有・無いの3段階で区分	有り やや有 無い
耐風性	風（物理性）に対する耐性について、有る・やや有・無いの3段階で区分	有り やや有 無い
延焼防止	延焼防止能力について、有る・やや有・無いの3段階で区分	有り やや有 無い
大気浄化	大気浄化能力について、有る・やや有・無いの3段階で区分	有り やや有 無い
緑陰	緑陰形成力について、有る・やや有・無いの3段階で区分	有り やや有 無い
新緑	春の新緑が特に美しい種	○
花	花が咲く、あるいは花に特徴がある種	○
実	果実がつく、あるいは果実の特徴がある種	○
紅葉	特に秋の紅葉・黄葉に特徴がある種	○
シンボル性	大きくなる種	○
耐剪定性	剪定に対して本来の樹形を維持する耐性が、有る・やや有・無いの3段階で区分	有り やや有 無し
剪定頻度	高い頻度で剪定が必要かどうかについて、3～5年に1回・2～3年に1回・毎年	3～5年に1回 2～3年に1回 毎年
落葉	落ち葉の清掃回数の多少について、少ない・普通・多いの3段階で区分	多 普 少
病虫害	病虫害の発生頻度について、少ない・普通・多いの3段階で区分	少 普 多

## 7.2 主要街路樹の詳細

■ イチョウ																																																																																												
樹種特性	<table border="1"> <tr> <th>基本特性</th> <th>環境適応性</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>落葉針葉樹</li> <li>陽樹</li> <li>雌雄異株</li> <li>外来種</li> </ul> </td> <td> <table border="1"> <tr> <th>耐性</th> <th>無</th> <th>有</th> </tr> <tr> <td>耐乾性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐湿性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐暑性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐寒性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐煙性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐風性</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>樹形と樹高</td> <td>鑑賞時期</td> </tr> <tr> <td>  </td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>葉</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">新緑</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">紅葉</td> </tr> <tr> <td>実</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td>特徴</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>直幹で枝は斜め上に伸びる。</li> <li>秋に黄葉し、10～11月に実（ギンナン）が熟す。</li> <li>街路樹などの場所によっては、実のならない雄木の利用が望まれる。</li> <li>樹齢が長く、樹高30m程度の巨大木になる場合もある。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>管理特性</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：有る</li> <li>剪定頻度：2～3年に1回</li> <li>落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：多い</li> <li>病虫害の発生頻度：少ない</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>剪定標準樹形</li> </ul> <p>芯を立てる円錐形</p>  </td> </tr> <tr> <td>剪定の際の留意点</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>イチョウの自然の生長の姿は、下方枝が広く先端部は短い樹形に生育するもので、街路樹ではこの自然の生長の姿を、相似形に整った円錐樹形に剪定して、それぞれ植えられた路線の空間的な条件に応じた大きさに維持していく。</li> <li>幹・主枝などからの萌芽伸長する枝が多く、特に幹に並行して伸びる枝は、冬期剪定時にその付け根から切り取ることが原則であるが、特に注意を要するものは、幹に接して並行して伸びる立ち枝で、取り忘れて長年経過すると、幹が二本立てとなって、樹形が崩れてしまう。</li> <li>地際部や枝・幹などから発生する小枝は、剪定の都度、付け根から切り取ることが大切である。</li> <li>輪枝を尊重して剪定を行う。</li> </ul> <p>注）基本的な剪定の方法及び留意点は本編「5. 剪定の基本技術」参照。</p> </td> <td>  <p>図 イチョウの基本樹形の剪定</p> </td> </tr> <tr> <td>出典</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>街路樹の剪定（昭和60年10月、藤田昇著）</li> <li>改訂版 緑化樹木ガイドブック（平成21年11月、財団法人建設物価調査会）</li> </ul> </td> </tr> </table>	基本特性	環境適応性	<ul style="list-style-type: none"> <li>落葉針葉樹</li> <li>陽樹</li> <li>雌雄異株</li> <li>外来種</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <th>耐性</th> <th>無</th> <th>有</th> </tr> <tr> <td>耐乾性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐湿性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐暑性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐寒性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐煙性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐風性</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	耐性	無	有	耐乾性			耐湿性			耐暑性			耐寒性			耐煙性			耐風性			樹形と樹高	鑑賞時期		<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>葉</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">新緑</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">紅葉</td> </tr> <tr> <td>実</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	花													葉				新緑							紅葉		実													特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>直幹で枝は斜め上に伸びる。</li> <li>秋に黄葉し、10～11月に実（ギンナン）が熟す。</li> <li>街路樹などの場所によっては、実のならない雄木の利用が望まれる。</li> <li>樹齢が長く、樹高30m程度の巨大木になる場合もある。</li> </ul>	管理特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：有る</li> <li>剪定頻度：2～3年に1回</li> <li>落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：多い</li> <li>病虫害の発生頻度：少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>剪定標準樹形</li> </ul> <p>芯を立てる円錐形</p> 	剪定の際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>イチョウの自然の生長の姿は、下方枝が広く先端部は短い樹形に生育するもので、街路樹ではこの自然の生長の姿を、相似形に整った円錐樹形に剪定して、それぞれ植えられた路線の空間的な条件に応じた大きさに維持していく。</li> <li>幹・主枝などからの萌芽伸長する枝が多く、特に幹に並行して伸びる枝は、冬期剪定時にその付け根から切り取ることが原則であるが、特に注意を要するものは、幹に接して並行して伸びる立ち枝で、取り忘れて長年経過すると、幹が二本立てとなって、樹形が崩れてしまう。</li> <li>地際部や枝・幹などから発生する小枝は、剪定の都度、付け根から切り取ることが大切である。</li> <li>輪枝を尊重して剪定を行う。</li> </ul> <p>注）基本的な剪定の方法及び留意点は本編「5. 剪定の基本技術」参照。</p>	 <p>図 イチョウの基本樹形の剪定</p>	出典	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路樹の剪定（昭和60年10月、藤田昇著）</li> <li>改訂版 緑化樹木ガイドブック（平成21年11月、財団法人建設物価調査会）</li> </ul>
	基本特性	環境適応性																																																																																										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>落葉針葉樹</li> <li>陽樹</li> <li>雌雄異株</li> <li>外来種</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <th>耐性</th> <th>無</th> <th>有</th> </tr> <tr> <td>耐乾性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐湿性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐暑性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐寒性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐煙性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐風性</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	耐性	無	有	耐乾性			耐湿性			耐暑性			耐寒性			耐煙性			耐風性																																																																							
耐性	無	有																																																																																										
耐乾性																																																																																												
耐湿性																																																																																												
耐暑性																																																																																												
耐寒性																																																																																												
耐煙性																																																																																												
耐風性																																																																																												
樹形と樹高	鑑賞時期																																																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>葉</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">新緑</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">紅葉</td> </tr> <tr> <td>実</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	花													葉				新緑							紅葉		実																																																			
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																																																
花																																																																																												
葉				新緑							紅葉																																																																																	
実																																																																																												
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>直幹で枝は斜め上に伸びる。</li> <li>秋に黄葉し、10～11月に実（ギンナン）が熟す。</li> <li>街路樹などの場所によっては、実のならない雄木の利用が望まれる。</li> <li>樹齢が長く、樹高30m程度の巨大木になる場合もある。</li> </ul>																																																																																											
管理特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：有る</li> <li>剪定頻度：2～3年に1回</li> <li>落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：多い</li> <li>病虫害の発生頻度：少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>剪定標準樹形</li> </ul> <p>芯を立てる円錐形</p> 																																																																																										
剪定の際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>イチョウの自然の生長の姿は、下方枝が広く先端部は短い樹形に生育するもので、街路樹ではこの自然の生長の姿を、相似形に整った円錐樹形に剪定して、それぞれ植えられた路線の空間的な条件に応じた大きさに維持していく。</li> <li>幹・主枝などからの萌芽伸長する枝が多く、特に幹に並行して伸びる枝は、冬期剪定時にその付け根から切り取ることが原則であるが、特に注意を要するものは、幹に接して並行して伸びる立ち枝で、取り忘れて長年経過すると、幹が二本立てとなって、樹形が崩れてしまう。</li> <li>地際部や枝・幹などから発生する小枝は、剪定の都度、付け根から切り取ることが大切である。</li> <li>輪枝を尊重して剪定を行う。</li> </ul> <p>注）基本的な剪定の方法及び留意点は本編「5. 剪定の基本技術」参照。</p>	 <p>図 イチョウの基本樹形の剪定</p>																																																																																										
出典	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路樹の剪定（昭和60年10月、藤田昇著）</li> <li>改訂版 緑化樹木ガイドブック（平成21年11月、財団法人建設物価調査会）</li> </ul>																																																																																											



写真：東京都千代田区  
出典：改訂版 緑化樹木ガイドブック（平成21年11月、財団法人建設物価調査会）

## ■エンジュ


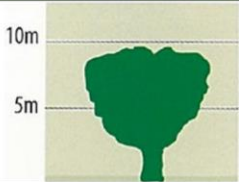
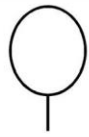
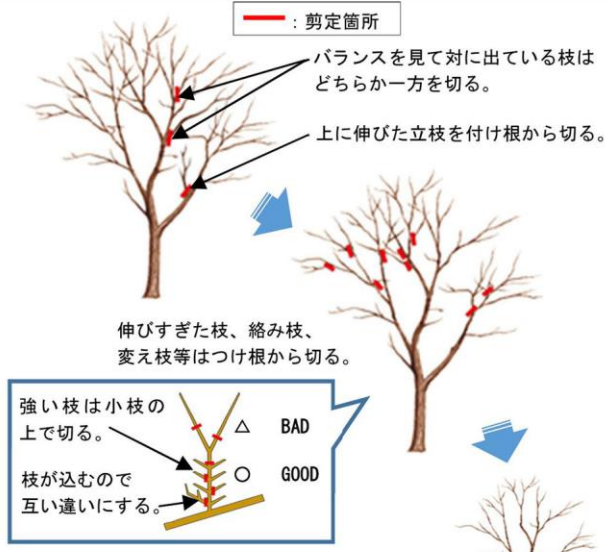


写真：東京都小金井市 出典：改訂版 緑化樹木ガイドブック  
(平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会)

樹種特性	基本特性	環境適応性																																																															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落葉広葉樹</li> <li>・陽樹</li> <li>・外来種</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>耐性</td> <td>無</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>耐乾性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐湿性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐暑性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐寒性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐煙性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐風性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	耐性	無				有	耐乾性						耐湿性						耐暑性						耐寒性						耐煙性						耐風性																										
耐性	無				有																																																												
耐乾性																																																																	
耐湿性																																																																	
耐暑性																																																																	
耐寒性																																																																	
耐煙性																																																																	
耐風性																																																																	
樹形と樹高	樹形と樹高	鑑賞時期																																																															
		<table border="1"> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> </tr> <tr> <td>花</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>葉</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>新緑</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>紅葉</td> </tr> <tr> <td>実</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	花													葉						新緑						紅葉	実																							
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																					
花																																																																	
葉						新緑						紅葉																																																					
実																																																																	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・枝はやや斜め上向して互生し、輪生に近い形に出て、樹冠はおおよそ球形となる。</li> <li>・秋に黄葉し、花は7～8月頃に黄白色で蝶形の花が樹冠いっぱい咲く。</li> <li>・成長は早く、萌芽・復元性あり。</li> <li>・直根性で強風に強く、乾燥にも耐える。</li> </ul>																																																																
管理特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：有る</li> <li>・剪定頻度：3～5年に1回</li> <li>・落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：少ない</li> <li>・病虫害の発生頻度：多い</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・剪定標準樹形</li> </ul>																																																										
							芯を立てる広卵円か球形 																																																										
剪定の際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹冠頂端部の主枝が多く、立ち枝性になっているものを見受けるが、上方主枝は比較的斜め上向き程度のゆるやかなものを、少ない数に維持し、下方枝からしっかりした樹形となるよう計っていくことが大切である。</li> <li>・大きすぎる樹冠や伸びすぎた枝を詰める場合でも、極力切り詰めは避ける。</li> <li>・長く伸びた枝はその下方から良い方向に出ている短い枝と切り替える。</li> <li>・樹冠外側部の枝は、前年生枝そのままの姿で止まっているよう剪定する。</li> </ul> 注）基本的な剪定の方法及び留意点は本編「5. 剪定の基本技術」参照。																																																																
							<p>図 エンジュの基本樹形の剪定</p>																																																										
出典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街路樹の剪定（昭和 60 年 10 月、藤田昇著）</li> <li>・改訂版 緑化樹木ガイドブック（平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会）</li> </ul>																																																																



## ■カエデ類

樹種特性	基本特性	環境適応性	 <p>写真：東京都品川区 出典：改訂版 緑化樹木ガイドブック (平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会)</p>																																																			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>落葉広葉樹</li> <li>中庸樹</li> <li>在来種</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <th>耐性</th> <th>無</th> <th>有</th> </tr> <tr> <td>耐乾性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐湿性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐暑性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐寒性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐煙性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐風性</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		耐性	無	有	耐乾性			耐湿性			耐暑性			耐寒性			耐煙性			耐風性																																
	耐性	無		有																																																		
耐乾性																																																						
耐湿性																																																						
耐暑性																																																						
耐寒性																																																						
耐煙性																																																						
耐風性																																																						
樹形と樹高	鑑賞時期																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>葉</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">新緑</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">紅葉</td> </tr> <tr> <td>実</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	花													葉				新緑							紅葉		実													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																										
花																																																						
葉				新緑							紅葉																																											
実																																																						
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹高のわりに枝幅が広がる。</li> <li>秋の紅葉の代表種として知られているが、春の新葉も明るくて美しい。</li> <li>生長は早く、萌芽・復元性がある。</li> </ul>																																																					
管理特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：やや有</li> <li>剪定頻度：毎年</li> <li>落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：少ない</li> <li>病虫害の発生頻度：多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>剪定標準樹形</li> </ul>																																																				
剪定の際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>剪定時期が遅れると、切口から水がしみ出し枯れる場合がある。剪定は木の活動が止まる11～12月に行い、1月以降は避ける。</li> <li>自然樹形の柔らかさを出すために、細い枝は残して太い枝（φ20～50mm）を剪定する。</li> <li>枝先には水平の枝を残すとより柔らかくなる。</li> <li>太い枝を切った際は保護剤を塗り菌の侵入を防ぐ。</li> </ul>																																																					
	 <p>図 カエデ類の基本的な剪定方法</p> <p>剪定後イメージ</p>																																																					
出典	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路樹の剪定（昭和 60 年 10 月、藤田昇著）</li> <li>改訂版 緑化樹木ガイドブック（平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会）</li> </ul> <p>※カエデ類の代表として、主にイロハモミジに関する情報を記載</p>																																																					



# ■クスノキ



写真：大阪府吹田市

出典：改訂版 緑化樹木ガイドブック  
(平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会)

## 樹種特性

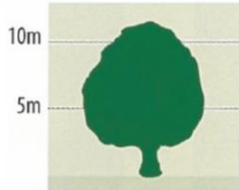
### 基本特性

- 常緑広葉樹
- 中庸樹
- 在来種

### 環境適応性

耐性	無			有
耐乾性				
耐湿性				
耐暑性				
耐寒性				
耐煙性				
耐風性				

### 樹形と樹高



### 鑑賞時期

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花												
葉												
実												

## 特徴

- 成木は球形の樹形をつくる。
- 葉は光沢がある。
- 春に古い葉を落としていっきに淡黄や赤みをおびた新葉に代わる。
- 生長が早く、萌芽・復元性に優れる。

## 管理特性

- 耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：有る
- 剪定頻度：3～5年に1回
- 落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：少ない
- 病虫害の発生頻度：少ない

### • 剪定標準樹形

芯を立てない広卵形か球形



## 剪定の際の留意点

- 本種は高木常緑広葉樹で分枝が多く、球形状樹形となるため、枝張りが大きく、美しい自然樹形で仕立てるには広い空間が必要となる。
- 広い空間が確保できない場合は、繰り返し剪定や切り詰め剪定が必要となるが、強剪定を行っても萌芽力が強く、数年をかければ美しい樹形に蘇らせることができる。

注）基本的な剪定の方法及び留意点は本編「5. 剪定の基本技術」参照。



剪定前  
(初年度剪定位置)



2～3年目剪定



枝の仕上がリイメージ

初年度の剪定位置は、大枝の切り口から萌芽した枝が自然な形で分枝し、管理目標樹形となるように設定します。

一般的に落葉広葉樹は、剪定の翌年には数多くの長い枝が出ますが、常緑広葉樹は、落葉広葉樹に比べて枝数も少なくそれほど伸びません。

ですから、2回目の剪定は、2～3年後とするのが一般的です。2～3年後の剪定は、外側に向かって素直に伸びた枝を数本残して、不要枝といわれる立枝や絡み枝などを切除します。

切り口から萌芽していない場合は、萌芽している部位まで切り戻す必要があります。

クスノキは、初年度剪定後2～3年目に一度剪定すると、その後はあまり手を入れる必要はありません。

管理目標樹形に達したら、不要枝の枝抜き剪定と切返し剪定によって、樹形を維持することとなります。

図 クスノキの基本的な剪定方法

## 出典

- 街路樹の剪定（昭和 60 年 10 月、藤田昇著）
- 改訂版 緑化樹木ガイドブック（平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会）
- 都市緑化ハンドブック（街路樹編）美しい街路樹をつくる（平成 30 年 9 月、（一社）日本造園建設業協会）

# ■ケヤキ

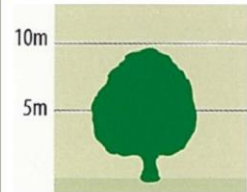
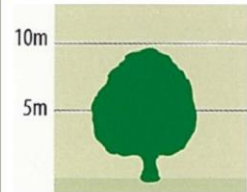

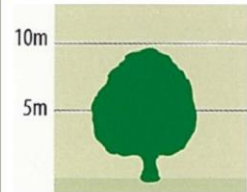

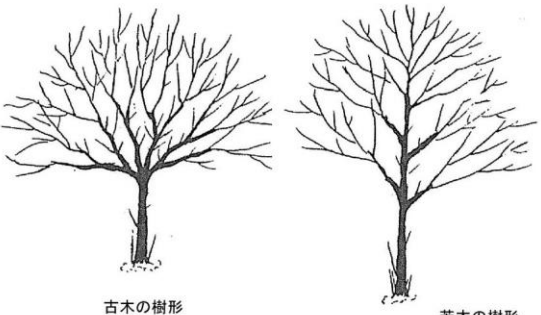


写真：東京都町田市

出典：改訂版 緑化樹木ガイドブック  
(平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会)

樹種特性	基本特性	環境適応性																																																															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落葉広葉樹</li> <li>・陽樹</li> <li>・在来種</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <th>耐性</th> <th>無</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>有</th> </tr> <tr> <td>耐乾性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐湿性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐暑性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐寒性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐煙性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐風性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	耐性	無				有	耐乾性						耐湿性						耐暑性						耐寒性						耐煙性						耐風性																										
		耐性	無				有																																																										
耐乾性																																																																	
耐湿性																																																																	
耐暑性																																																																	
耐寒性																																																																	
耐煙性																																																																	
耐風性																																																																	
樹形と樹高	鑑賞時期																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>葉</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2" style="background-color: #008000; color: white;">新緑</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2" style="background-color: #800000; color: white;">紅葉</td> </tr> <tr> <td>実</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	花													葉				新緑							紅葉		実																								
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																					
花																																																																	
葉				新緑							紅葉																																																						
実																																																																	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まっすぐな幹から枝がバランスよく伸び、球形の樹形となる。</li> <li>・秋の黄・紅葉が特に美しい個体も見られる。</li> <li>・生長は早く、萌芽・復元性がある。</li> <li>・生育には十分な空間が必要。</li> </ul>																																																																
	管理特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：やや有</li> <li>・剪定頻度：3～5年に1回</li> <li>・落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：多い</li> <li>・病虫害の発生頻度：少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・剪定標準樹形</li> </ul>																																																														
剪定の際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生長は早いほうではないため、街路樹として10～15m、枝幅も10m前後で維持していくためには、基本樹形の枝の姿を考えて、混み過ぎた部分の枝は中枝程度で付け根から切り取り、樹冠外に出るような枝は、その枝の途中から出た短い枝を探して、これを切り替える。</li> <li>・このような剪定で、枝の均整な配置を崩さないようにすることが大切で、例え多少の欠枝部を生じて、生長により自然に補われる。</li> <li>・自然の広卵円形の姿で、植えられた路線に見合う大きさに維持していくには、原則として枝の切り詰めは行わず、樹冠を作っている主枝から分岐した副主枝、またはそれから分岐した枝ぐらいのところで、目的に見合う程度に伸び、先端が細枝に分かれた枝を選んでこれと切り替える。</li> </ul>																																																																
	<p style="text-align: center;">図 ケヤキの基本樹形</p>																																																																
出典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街路樹の剪定（昭和60年10月、藤田昇著）</li> <li>・改訂版 緑化樹木ガイドブック（平成21年11月、財団法人建設物価調査会）</li> </ul>																																																																
	<p>注）基本的な剪定の方法及び留意点は本編「5. 剪定の基本技術」参照。</p>																																																																



■ サクラ類																																																																																			
樹種特性	<table border="1"> <tr> <th>基本特性</th> <th>環境適応性</th> </tr> <tr> <td rowspan="6"> <ul style="list-style-type: none"> <li>落葉広葉樹</li> <li>陽樹</li> <li>在来種</li> </ul> </td> <td> <table border="1"> <tr> <th>耐性</th> <th>無</th> <th>有</th> </tr> <tr> <td>耐乾性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐湿性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐暑性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐寒性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐煙性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐風性</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <th>樹形と樹高</th> <th>鑑賞時期</th> </tr> <tr> <td>  </td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>葉</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </table>	基本特性	環境適応性	<ul style="list-style-type: none"> <li>落葉広葉樹</li> <li>陽樹</li> <li>在来種</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <th>耐性</th> <th>無</th> <th>有</th> </tr> <tr> <td>耐乾性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐湿性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐暑性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐寒性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐煙性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐風性</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	耐性	無	有	耐乾性			耐湿性			耐暑性			耐寒性			耐煙性			耐風性			樹形と樹高	鑑賞時期		<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>葉</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	花													葉													実													 <p>写真：東京都多摩市 出典：改訂版 緑化樹木ガイドブック (平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会)</p>
	基本特性	環境適応性																																																																																	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>落葉広葉樹</li> <li>陽樹</li> <li>在来種</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <th>耐性</th> <th>無</th> <th>有</th> </tr> <tr> <td>耐乾性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐湿性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐暑性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐寒性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐煙性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐風性</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	耐性		無	有	耐乾性			耐湿性			耐暑性			耐寒性			耐煙性			耐風性																																																													
耐性		無	有																																																																																
耐乾性																																																																																			
耐湿性																																																																																			
耐暑性																																																																																			
耐寒性																																																																																			
耐煙性																																																																																			
耐風性																																																																																			
樹形と樹高	鑑賞時期																																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>葉</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	花													葉													実																																										
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																																							
花																																																																																			
葉																																																																																			
実																																																																																			
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹形は横に広がった形になる。</li> <li>3月下旬から4月上旬頃、淡紅色の花が葉に先立って咲く。</li> <li>生長は早い。</li> <li>ソメイヨシノはサクラ類の中では比較的樹齢が短い。</li> </ul>																																																																																		
管理特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：無い</li> <li>剪定頻度：毎年</li> <li>落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：少ない</li> <li>病虫害の発生頻度：多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>剪定標準樹形</li> </ul> <p>芯を立てない盃形</p> 																																																																																	
剪定の際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>萌芽性は良いが、大きな切口から腐れこむ性質が強く、切口には殺菌剤を塗布する。</li> <li>幹の根元・幹・主枝・副主枝の古枝部からのヤゴ・ヒコバエの発生も多いので、その付け根から切り取る。</li> <li>剪定は避けた方がよいが、樹冠内部が蒸れるためか、枯れ枝となるものがあるので、これらは毎年または数年に一度程度、その付け根または分枝の部分から切り取る。</li> </ul>	 <p>古木の樹形      若木の樹形</p> <p>図 サクラ類の基本樹形の剪定</p>																																																																																	
出典	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路樹の剪定（昭和 60 年 10 月、藤田昇著）</li> <li>改訂版 緑化樹木ガイドブック（平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会）</li> </ul> <p>※サクラ類の代表として、主にソメイヨシノに関する情報を記載</p>																																																																																		

## ■ サルスベリ



写真：鳥取県鳥取市

出典：改訂版 緑化樹木ガイドブック  
(平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会)

樹種特性	基本特性	環境適応性																																																															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 落葉広葉樹</li> <li>・ 陽樹</li> <li>・ 外来種</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>耐性</td> <td>無</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>耐乾性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐湿性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐暑性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐寒性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐煙性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐風性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	耐性	無				有	耐乾性						耐湿性						耐暑性						耐寒性						耐煙性						耐風性																										
		耐性	無				有																																																										
耐乾性																																																																	
耐湿性																																																																	
耐暑性																																																																	
耐寒性																																																																	
耐煙性																																																																	
耐風性																																																																	
樹形と樹高	鑑賞時期																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3" style="background-color: #ff69b4;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>葉</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2" style="background-color: #008000;"></td> </tr> <tr> <td>実</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	花													葉													実																								
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																					
花																																																																	
葉																																																																	
実																																																																	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 樹皮は赤褐色で平滑であり、薄く剥がれ鹿の子状の模様をつくる。</li> <li>・ 花は紅、ピンク、紫、白色などがあり、7～9月の夏の間中長く咲き続ける。</li> <li>・ 生長はやや遅く、萌芽・復元性がある。</li> <li>・ 株立ち樹形が面白い。</li> </ul>																																																																
	管理特性						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：有る</li> <li>・ 剪定頻度：3～5年に1回</li> <li>・ 落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：少ない</li> <li>・ 病虫害の発生頻度：多い</li> </ul>							<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 剪定標準樹形</li> </ul>																																																			
剪定の際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 徒長枝、逆さ枝等の不必要な枝は原則として切り取るが、枝数が少ない場合には樹形を考慮して予備枝として、これらの枝も残す。</li> <li>・ 強剪定をしすぎると花は大きいが数が少なくなるため、枝によっては弱剪定（整枝剪定）、強剪定をうまく使い分け樹形を整える。</li> <li>・ 剪定位置を毎回同じにすると、こぶになってしまうので、同じ位置では切らない。</li> <li>・ こぶになってしまったものは切り直して整える。</li> </ul> <p>注）基本的な剪定の方法及び留意点は本編「5. 剪定の基本技術」参照。</p>																																																																
出典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 街路樹の剪定（昭和 60 年 10 月、藤田昇著）</li> <li>・ 改訂版 緑化樹木ガイドブック（平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会）</li> <li>・ 芦屋市街路樹等維持管理基本書＜剪定方法＞（平成 24 年度、芦屋市建設部公園緑地課）</li> </ul>																																																																

## ■スギ



写真：大阪府 出典：改訂版 緑化樹木ガイドブック  
(平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会)

樹種特性	基本特性	環境適応性																																																																																																														
	<ul style="list-style-type: none"> <li>常緑針葉樹</li> <li>陽樹</li> <li>在来種</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>耐性</td> <td>無</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>耐乾性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐湿性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐暑性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐寒性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐煙性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐風性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>													耐性	無												有	耐乾性														耐湿性														耐暑性														耐寒性														耐煙性														耐風性													
	耐性	無												有																																																																																																		
耐乾性																																																																																																																
耐湿性																																																																																																																
耐暑性																																																																																																																
耐寒性																																																																																																																
耐煙性																																																																																																																
耐風性																																																																																																																
樹形と樹高	鑑賞時期	<table border="1"> <tr> <td>月</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>花</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>葉</td> <td colspan="12" style="background-color: #90EE90;"></td> </tr> <tr> <td>実</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>													月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	花													葉													実																																																										
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																																																																				
花																																																																																																																
葉																																																																																																																
実																																																																																																																
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹形は直幹で、狭円錐形。</li> <li>枝葉は密生する。</li> <li>葉は秋～冬の低温季には赤褐色になる。</li> <li>生長が早く、萌芽・復元性がある。</li> </ul>																																																																																																															
管理特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：有る</li> <li>剪定頻度：3～5年に1回</li> <li>落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：少ない</li> <li>病虫害の発生頻度：少ない</li> </ul>							<ul style="list-style-type: none"> <li>剪定標準樹形</li> </ul>																																																																																																								
剪定の際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>残枝長を可能な限り短くするように枝打ちをする</li> <li>皮をはいだり、幹に傷をつけたりしないようにする。</li> <li>切口なめらかになるよう枝打ちをする。</li> </ul> <p>注）基本的な剪定の方法及び留意点は本編「5. 剪定の基本技術」参照。</p>																																																																																																															
出典	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路樹の剪定（昭和 60 年 10 月、藤田昇著）</li> <li>改訂版 緑化樹木ガイドブック（平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会）</li> <li>正しい枝打ちをするために（すぎ・ひのき）（昭和 55 年度、徳島県林業課）</li> </ul>																																																																																																															





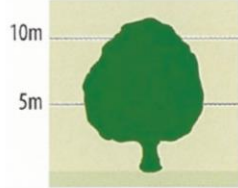
## ■スズカケノキ(プラタナス類)



写真：北海道札幌市

出典：改訂版 緑化樹木ガイドブック  
(平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会)

樹種特性	基本特性	環境適応性																																			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落葉広葉樹</li> <li>・陽樹</li> <li>・外来種</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>耐性</td> <td>無</td> <td></td> <td></td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>耐乾性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐湿性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐暑性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐寒性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐煙性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐風性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	耐性	無			有	耐乾性					耐湿性					耐暑性					耐寒性					耐煙性					耐風性				
	耐性	無			有																																
耐乾性																																					
耐湿性																																					
耐暑性																																					
耐寒性																																					
耐煙性																																					
耐風性																																					
樹形と樹高	鑑賞時期																																				



月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花												
葉												
実												

**特徴**

- ・葉は広卵形で切れ込む。
- ・秋にはボール状の実を垂れ下げる。
- ・生長がはやく、萌芽・復元性がある。

**管理特性**

- ・耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：有る
- ・剪定頻度：毎年
- ・落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：多い
- ・病虫害の発生頻度：多い

・剪定標準樹形

芯を立てる卵円形

**剪定の際の留意点**

- ・若木の場合、前年生枝で斜め上向きの主枝 1 本とし、枝の先端は斜め上向きの定芽で切り詰める。
- ・成木の場合、主枝が古枝となっていて、主枝は 1 本で、その先端部に発生したやや斜め上向きの前年生枝部の、斜め上向きの定芽の位置で切り詰める。中間部の枝では、古枝の主枝は上部のものは 1 本、下部のものは先端が 2 本程度に分岐し、それぞれの先端部に発生した前年枝のうち、比較的水平に伸びたものを、枝先の均整な配置を考慮して 1~2 本残し、その先端部を水平の定芽の位置で切り詰める。
- ・地際や幹、枝や樹冠部から発生するヤゴ・ヒコバエはほぼ全て付け根から切り取ることが原則であり、特に幹に並行して伸びる立ち枝は早く切り取る。ただ、欠枝部の方向に伸びた枝は切らずに予備枝とし、冬期剪定時にその部分の枝として、よい方向に伸びられる充実した定芽で切り詰める。

注）基本的な剪定の方法及び留意点は本編「5. 剪定の基本技術」参照。

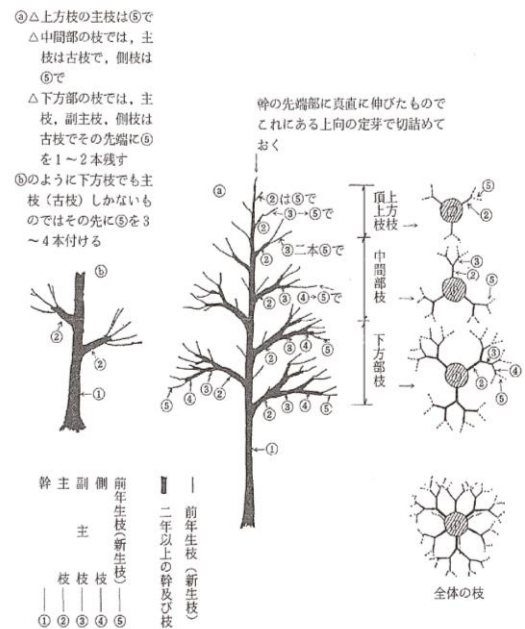


図 スズカケノキの基本剪定

**出典**

- ・街路樹の剪定（昭和 60 年 10 月、藤田昇著）
- ・改訂版 緑化樹木ガイドブック（平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会）

# ■トウカエデ



写真：東京都八王子市

出典：改訂版 緑化樹木ガイドブック  
(平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会)

樹種特性	基本特性	環境適応性																																			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落葉広葉樹</li> <li>・陽樹</li> <li>・外来種</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <th>耐性</th> <th>無</th> <th></th> <th></th> <th>有</th> </tr> <tr> <td>耐乾性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐湿性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐暑性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐寒性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐煙性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐風性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	耐性	無			有	耐乾性					耐湿性					耐暑性					耐寒性					耐煙性					耐風性				
	耐性	無			有																																
耐乾性																																					
耐湿性																																					
耐暑性																																					
耐寒性																																					
耐煙性																																					
耐風性																																					
樹形と樹高		鑑賞時期																																			

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花												
葉				新緑							紅葉	
実												

**特徴**

- ・直幹で比較的整った樹形になる
- ・葉は浅く3裂し、ほぼ三角状で秋に美しく紅葉する。
- ・生長は早く、萌芽・復元性がある。

**管理特性**

- ・耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：有る
- ・剪定頻度：毎年
- ・落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：少ない
- ・病虫害の発生頻度：多い

**・剪定標準樹形**  
 芯を立てる卵円形

**剪定の際の留意点**

- ・若枝でも成木・古木でも、上方主枝は一本の 2～3 年生の古枝で、斜め上向きの枝が中・下方枝より短く、その先端部から自然の枝の姿を保つよう、前年枝が付いて、古枝と前年生枝とのつながりが目立たないように剪定する。
- ・本種は対生状の枝の出方をし細枝の発生も多いうえ、頂端部の枝が多くなる頂部優生生長になりやすい性質を持っている。このため、若木のうちから基本剪定を正しく実施しないと、頂部の細かい枝が混み合う形となり、衰えている樹冠の上方が広く。下方枝の生育が思わしくなく細っている姿となるものも多い。

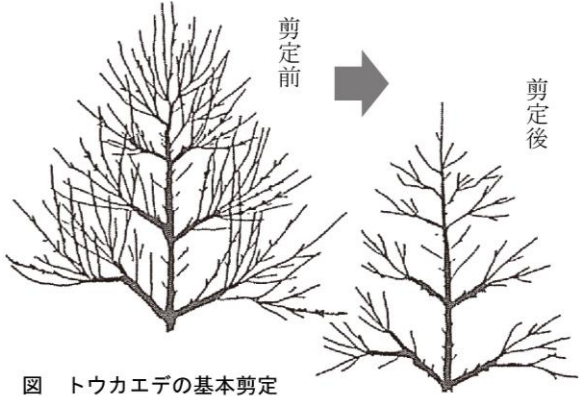


図 トウカエデの基本剪定

注) 基本的な剪定の方法及び留意点は本編「5. 剪定の基本技術」参照。

**出典**

- ・街路樹の剪定（昭和 60 年 10 月、藤田昇著）
- ・改訂版 緑化樹木ガイドブック（平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会）

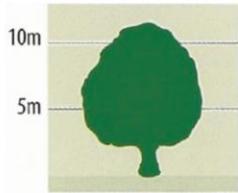


# トチノキ



写真：東京都八王子市 出典：改訂版 緑化樹木ガイドブック (平成21年11月、財団法人建設物価調査会)

樹種特性	基本特性	環境適応性																																			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>落葉広葉樹</li> <li>陰樹</li> <li>在来種</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>耐性</td> <td>無</td> <td></td> <td></td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>耐乾性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐湿性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐暑性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐寒性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐煙性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐風性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	耐性	無			有	耐乾性					耐湿性					耐暑性					耐寒性					耐煙性					耐風性				
	耐性	無			有																																
耐乾性																																					
耐湿性																																					
耐暑性																																					
耐寒性																																					
耐煙性																																					
耐風性																																					
樹形と樹高	鑑賞時期																																				



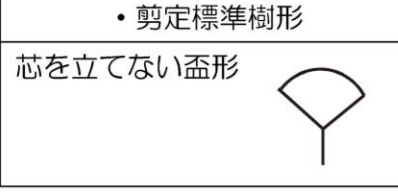
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花												
葉												
実												

**特徴**

- 樹形は球形で、枝が太く、葉は5~7枚の掌状複葉。
- 花は5~6月頃、枝先にろうそくを立てたような白い花序をつける。
- 秋に栗に似た大きな実をつける。
- 生長は早く、萌芽力がある。

**管理特性**

- 耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：やや有
- 剪定頻度：3~5年に1回
- 落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：多い
- 病虫害の発生頻度：少ない



**剪定の際の留意点**

- 枝が混み過ぎる状態で長年放置すると、樹冠内部の太枝まで枯れる恐れもあるので注意する。
- 冬期剪定時には立ち枝・逆枝だけでなく、混み過ぎた部分の枝はその分岐点から切り取って、適当な枝の間隔を保つ。
- 剪定の基本としては、幹を中心として樹冠内部の主枝の配置も対生状に上向き枝のうち、垂直状に伸びる立ち枝は付け根から切り取り、下枝から段階的に上部枝まで重なり枝がなく、あるいは互生状に枝抜きして四方に均等に配置できるように残す。

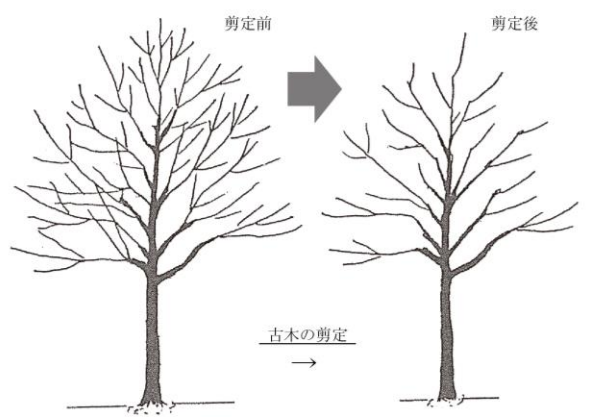


図 トチノキの基本剪定

注) 基本的な剪定の方法及び留意点は本編「5. 剪定の基本技術」参照。

**出典**

- 街路樹の剪定 (昭和60年10月、藤田昇著)
- 改訂版 緑化樹木ガイドブック (平成21年11月、財団法人建設物価調査会)

■ ハナミズキ																																																																																														
樹種特性	<table border="1"> <tr> <th>基本特性</th> <th>環境適応性</th> </tr> <tr> <td rowspan="6"> <ul style="list-style-type: none"> <li>落葉広葉樹</li> <li>中庸樹</li> <li>外来種</li> </ul> </td> <td> <table border="1"> <tr> <th>耐性</th> <th>無</th> <th>有</th> </tr> <tr> <td>耐乾性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐湿性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐暑性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐寒性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐煙性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐風性</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <th>樹形と樹高</th> <th>鑑賞時期</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="background-color: #FF69B4;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>葉</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="background-color: #008000;"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="background-color: #FFD700;"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特徴</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>直幹で枝が横張り形にやや水平に出る。</li> <li>花（総苞）は、4～5月に葉が完全に出そろう前に枝先に上向きに咲く。</li> <li>葉は秋に紅葉し、身は10～11月頃に赤く熟す。</li> <li>生長はやや遅く、夏の高温乾燥に注意が必要</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <th>管理特性</th> <th>剪定標準樹形</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：有る</li> <li>剪定頻度：3～5年に1回</li> <li>落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：少ない</li> <li>病虫害の発生頻度：多い</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>剪定標準樹形</li> <li>芯を立てる卵円形</li> </ul> </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">剪定の際の留意点</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>枝が横に伸びる自然樹形にするため、不要枝（太い枝を切る）やひこばえを剪定する程度にする。</li> <li>成木になると枝が垂れてくるので、枝の分岐点で切り詰める。</li> <li>日が差さないとすぐ枯れ枝になってしまうので、可能な限り枝を透かして内部の日当たりを確保する。</li> <li>輪枝を尊重して剪定を行う。</li> </ul> <p>注）基本的な剪定の方法及び留意点は本編「5. 剪定の基本技術」参照。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p style="text-align: center;">図 ハナミズキの基本的な剪定方法</p> </td> </tr> <tr> <td>出典</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>街路樹の剪定（昭和60年10月、藤田昇著）</li> <li>改訂版 緑化樹木ガイドブック（平成21年11月、財団法人建設物価調査会）</li> <li>岐阜県街路樹等整備・管理の手引き（平成22年3月、財団法人岐阜県建設研究センター・社団法人岐阜県造園緑化協会）</li> <li>剪定マニュアル（平成29年4月、メイクランド）</li> </ul> </td> </tr> </table>	基本特性	環境適応性	<ul style="list-style-type: none"> <li>落葉広葉樹</li> <li>中庸樹</li> <li>外来種</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <th>耐性</th> <th>無</th> <th>有</th> </tr> <tr> <td>耐乾性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐湿性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐暑性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐寒性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐煙性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐風性</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	耐性	無	有	耐乾性			耐湿性			耐暑性			耐寒性			耐煙性			耐風性			樹形と樹高	鑑賞時期		<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="background-color: #FF69B4;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>葉</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="background-color: #008000;"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="background-color: #FFD700;"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	花													葉													実													特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>直幹で枝が横張り形にやや水平に出る。</li> <li>花（総苞）は、4～5月に葉が完全に出そろう前に枝先に上向きに咲く。</li> <li>葉は秋に紅葉し、身は10～11月頃に赤く熟す。</li> <li>生長はやや遅く、夏の高温乾燥に注意が必要</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <th>管理特性</th> <th>剪定標準樹形</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：有る</li> <li>剪定頻度：3～5年に1回</li> <li>落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：少ない</li> <li>病虫害の発生頻度：多い</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>剪定標準樹形</li> <li>芯を立てる卵円形</li> </ul> </td> </tr> </table>	管理特性	剪定標準樹形	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：有る</li> <li>剪定頻度：3～5年に1回</li> <li>落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：少ない</li> <li>病虫害の発生頻度：多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>剪定標準樹形</li> <li>芯を立てる卵円形</li> </ul>	剪定の際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>枝が横に伸びる自然樹形にするため、不要枝（太い枝を切る）やひこばえを剪定する程度にする。</li> <li>成木になると枝が垂れてくるので、枝の分岐点で切り詰める。</li> <li>日が差さないとすぐ枯れ枝になってしまうので、可能な限り枝を透かして内部の日当たりを確保する。</li> <li>輪枝を尊重して剪定を行う。</li> </ul> <p>注）基本的な剪定の方法及び留意点は本編「5. 剪定の基本技術」参照。</p>	<p style="text-align: center;">図 ハナミズキの基本的な剪定方法</p>	出典	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路樹の剪定（昭和60年10月、藤田昇著）</li> <li>改訂版 緑化樹木ガイドブック（平成21年11月、財団法人建設物価調査会）</li> <li>岐阜県街路樹等整備・管理の手引き（平成22年3月、財団法人岐阜県建設研究センター・社団法人岐阜県造園緑化協会）</li> <li>剪定マニュアル（平成29年4月、メイクランド）</li> </ul>
	基本特性	環境適応性																																																																																												
<ul style="list-style-type: none"> <li>落葉広葉樹</li> <li>中庸樹</li> <li>外来種</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <th>耐性</th> <th>無</th> <th>有</th> </tr> <tr> <td>耐乾性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐湿性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐暑性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐寒性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐煙性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐風性</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	耐性	無		有	耐乾性			耐湿性			耐暑性			耐寒性			耐煙性			耐風性																																																																									
	耐性	無	有																																																																																											
	耐乾性																																																																																													
	耐湿性																																																																																													
	耐暑性																																																																																													
	耐寒性																																																																																													
耐煙性																																																																																														
耐風性																																																																																														
樹形と樹高	鑑賞時期																																																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="background-color: #FF69B4;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>葉</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="background-color: #008000;"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="background-color: #FFD700;"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	花													葉													実																																																					
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																																																		
花																																																																																														
葉																																																																																														
実																																																																																														
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>直幹で枝が横張り形にやや水平に出る。</li> <li>花（総苞）は、4～5月に葉が完全に出そろう前に枝先に上向きに咲く。</li> <li>葉は秋に紅葉し、身は10～11月頃に赤く熟す。</li> <li>生長はやや遅く、夏の高温乾燥に注意が必要</li> </ul>																																																																																													
	<table border="1"> <tr> <th>管理特性</th> <th>剪定標準樹形</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：有る</li> <li>剪定頻度：3～5年に1回</li> <li>落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：少ない</li> <li>病虫害の発生頻度：多い</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>剪定標準樹形</li> <li>芯を立てる卵円形</li> </ul> </td> </tr> </table>	管理特性	剪定標準樹形	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：有る</li> <li>剪定頻度：3～5年に1回</li> <li>落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：少ない</li> <li>病虫害の発生頻度：多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>剪定標準樹形</li> <li>芯を立てる卵円形</li> </ul>																																																																																									
管理特性	剪定標準樹形																																																																																													
<ul style="list-style-type: none"> <li>耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：有る</li> <li>剪定頻度：3～5年に1回</li> <li>落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：少ない</li> <li>病虫害の発生頻度：多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>剪定標準樹形</li> <li>芯を立てる卵円形</li> </ul>																																																																																													
剪定の際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>枝が横に伸びる自然樹形にするため、不要枝（太い枝を切る）やひこばえを剪定する程度にする。</li> <li>成木になると枝が垂れてくるので、枝の分岐点で切り詰める。</li> <li>日が差さないとすぐ枯れ枝になってしまうので、可能な限り枝を透かして内部の日当たりを確保する。</li> <li>輪枝を尊重して剪定を行う。</li> </ul> <p>注）基本的な剪定の方法及び留意点は本編「5. 剪定の基本技術」参照。</p>																																																																																													
	<p style="text-align: center;">図 ハナミズキの基本的な剪定方法</p>																																																																																													
出典	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路樹の剪定（昭和60年10月、藤田昇著）</li> <li>改訂版 緑化樹木ガイドブック（平成21年11月、財団法人建設物価調査会）</li> <li>岐阜県街路樹等整備・管理の手引き（平成22年3月、財団法人岐阜県建設研究センター・社団法人岐阜県造園緑化協会）</li> <li>剪定マニュアル（平成29年4月、メイクランド）</li> </ul>																																																																																													



# ■ マテバシイ



写真：東京都多摩市 出典：改訂版 緑化樹木ガイドブック  
(平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会)

樹種特性	基本特性	環境適応性																																																															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>常緑広葉樹</li> <li>陽樹</li> <li>在来種</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>耐性</td> <td>無</td> <td></td> <td></td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>耐乾性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐湿性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐暑性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐寒性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐煙性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐風性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	耐性	無			有	耐乾性					耐湿性					耐暑性					耐寒性					耐煙性					耐風性																																
耐性	無			有																																																													
耐乾性																																																																	
耐湿性																																																																	
耐暑性																																																																	
耐寒性																																																																	
耐煙性																																																																	
耐風性																																																																	
鑑賞時期	樹形と樹高	鑑賞時期																																																															
		<table border="1"> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> </tr> <tr> <td>花</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>葉</td> <td colspan="12" style="background-color: #008000;"></td> </tr> <tr> <td>実</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="background-color: #FFD700;"></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	花													葉													実																							
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																					
花																																																																	
葉																																																																	
実																																																																	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>ややまっすぐな幹で、樹形は広円柱形。</li> <li>成木になると高さより枝張りが大きくなる。</li> <li>10月頃に大きく細長いどんぐりが熟す。</li> <li>生長はやや早く、萌芽・復元性がある。</li> </ul>																																																																
管理特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：有る</li> <li>剪定頻度：3～5年に1回</li> <li>落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：少ない</li> <li>病虫害の発生頻度：少ない</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>剪定標準樹形</li> </ul>																																																										
剪定の際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>暖地性の種であるため冬期剪定は行わない。</li> <li>徒長枝、逆さ枝などを枝抜きして形を整える程度の剪定を行う。</li> </ul> <p>注）基本的な剪定の方法及び留意点は本編「5. 剪定の基本技術」参照。</p>						<p style="text-align: center;">&lt; 剪定前 &gt;                      &lt; 剪定後 &gt;</p>																																																										
出典	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路樹の剪定（昭和 60 年 10 月、藤田昇著）</li> <li>改訂版 緑化樹木ガイドブック（平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会）</li> <li>道路・公園緑化ガイドライン（平成 24 年 2 月改訂、広島市都市整備局緑化推進部）</li> </ul>																																																																



## ■ ユリノキ



写真：東京都新宿区日典：改訂版 緑化樹木ガイドブック  
(平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会)

樹種特性	基本特性	環境適応性																																																																																																																				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 落葉広葉樹</li> <li>・ 陽樹</li> <li>・ 外来種</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>耐性</td> <td>無</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>耐乾性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐湿性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐暑性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐寒性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐煙性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐風性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>													耐性	無													有	耐乾性															耐湿性															耐暑性															耐寒性															耐煙性															耐風性													
耐性	無													有																																																																																																								
耐乾性																																																																																																																						
耐湿性																																																																																																																						
耐暑性																																																																																																																						
耐寒性																																																																																																																						
耐煙性																																																																																																																						
耐風性																																																																																																																						
樹形と樹高		鑑賞時期																																																																																																																				
		<table border="1"> <tr> <td>月</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>花</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">■</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>葉</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">■</td> </tr> <tr> <td>実</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	花					■								葉											■		実																																																																												
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																																																																										
花					■																																																																																																																	
葉											■																																																																																																											
実																																																																																																																						
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直幹で大木になり、葉は半纏に似た形。</li> <li>・ 秋に黄葉し、5～6月にチューリップ形をした花が咲く。</li> <li>・ 花の形からチューリップツリー、葉の形から半纏木（ハンテンボク）の別名がある。</li> <li>・ 生長がはやく、萌芽力があり環境圧に強い。</li> </ul>																																																																																																																					
管理特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐剪定性（剪定に対して本来の樹形を維持する耐性）：やや有</li> <li>・ 剪定頻度：3～5年に1回</li> <li>・ 落葉（落ち葉の清掃に必要な回数の多少）：多い</li> <li>・ 病虫害の発生頻度：少ない</li> </ul>										<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 剪定標準樹形</li> </ul>																																																																																																											
											芯を立てる卵円形																																																																																																											
剪定の際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 頂部枝は、古枝だけでなく若枝も短く剪定し、中・下方枝まで陽光が当たるようにする。</li> <li>・ 頂上部では、萌芽枝や主枝などの先端部から、多くの立枝性のものや、樹形作り上は好ましくない方向に伸びた多くの若枝を、基本樹形作りに従ってすべてその付け根から切り取るが、幹の先端は必ず直立したものを1本とする。</li> <li>・ 各枝は自然の枝になぞらえて、主枝が太く先端ほど細く、そして主枝副主枝・前年生枝が自然な枝として見られるように剪定する。</li> <li>・ 特に主枝・副主枝・前年生枝とのつながりがコブにならないようにしていたために、その部分で切り取る枝は古枝に接して、切り取った枝の基部を残さないようにすることが、良い枝の姿を保つのに必要なことである。</li> </ul> <div style="text-align: center;"> <p>図 ユリノキの基本樹形の剪定</p> </div> <p>注）基本的な剪定の方法及び留意点は本編「5. 剪定の基本技術」参照。</p>																																																																																																																					
出典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 街路樹の剪定（昭和 60 年 10 月、藤田昇著）</li> <li>・ 改訂版 緑化樹木ガイドブック（平成 21 年 11 月、財団法人建設物価調査会）</li> </ul>																																																																																																																					



## 8. 用語集



## 8. 用語集

(五十音順)

### あ

- 枝おろし剪定 (えだおろしせんてい)  
整枝剪定時や移植時に、大枝や不要な大枝を付け根から切り取る剪定。
- 枝透かし剪定 (えだすかしせんてい)  
混み過ぎている枝を間引く剪定で「枝透かし剪定」ともいう。枝を間引く程度によって「大透かし」、「中透かし」、「小透かし」という。
- 大透かし (おおすかし)  
樹形の骨格を形成している古枝部の枝 (主枝) を間引く。

### か

- からみ枝  
一本の枝が他の主な枝に絡みついたような形になって発生する枝をさす。通常、切除の対象となる。
- 切返し剪定 (きりかえしせんてい)  
樹冠の大きさを大幅に縮小する場合や、傷んだり見苦しくなったりした枝を新しい枝に切り替えて更新する場合に行う剪定。長い枝の途中から分岐した短い枝を残し、その枝の付け根から切除する。「切戻し剪定」ともいう。
- 切詰剪定 (きりつめせんてい)  
樹冠を整正ために、樹冠外に飛び出した新しい枝 (前年生枝、本年生枝) を樹冠が整う位置にある定芽の頂上部で切り詰める剪定。
- 小透かし (こすかし)  
樹冠外周部の小枝 (側枝、前年生枝、本年生枝) や枝先の葉を間引く。

### さ

- さかさ枝  
樹木固有の性質に逆らって、下方や樹幹内方に伸びる枝をさす。通常、切除の対象となる。
- 自然樹形 (しぜんじゅけい)  
樹木本来の姿。生育段階 (樹齢) や環境条件によって異なる樹形になることが多い。



- 主枝（しゅし）  
幹から出た枝で、幹に近い部分をさす。
- 樹勢（じゅせい）  
樹木の生育状態を活力の面から示すもので、勢い（生長力・生命力等）があるかどうかを表す。
- 人工樹形（じんこうじゅけい）  
幹、枝、葉等に人為を加えることにより、自然樹形と異なった形に仕立てること。
- 整姿剪定（せいしせんてい）  
繁茂した樹幹の整正や混み過ぎによる枯損枝の発生防止、病虫害の防除等を目的として行う剪定。夏期に行うことから「夏期剪定」ともいう。
- 整枝剪定（せいしせんてい）  
樹木の自然樹形を基本に残しながら、主に枝を整え樹形の骨格をつくることを目的として行う剪定。落葉高木に対して冬期に行うため、「冬期剪定」ともいう。
- 前年生枝（ぜんねんせいし）  
前年春から伸びた枝をさす。
- 側枝（そくし）  
副主枝から分かれた部分の枝をさす。

## た

- 立枝（たちえだ）  
幹に平行して立ち上がって上に伸びる枝をさす。通常、切除の対象となる。
- 頂部優性（ちょうぶゆうせい）  
樹木の一般的な性質として、下方部より頂上部の生長が旺盛なことをいう。
- 胴吹き枝（どうぶきえだ）  
樹木の衰弱が原因で、幹から発生した小枝をさす。通常、切除の対象となる。
- 徒長枝（とちょうし）  
本年生枝、前年生枝の中で普通の枝より異常に長く伸びる枝をさす。組織的に軟弱なものが多い。通常、切除の対象となる。

## な

- 中透かし（なかすかし）  
樹冠を形成する若枝部の枝（副主枝）を間引く。

## は

- ひこばえ  
根元または地中にある根元に近い根から発生する小枝をいう。「ヤゴ」ともいう。  
通常、切除の対象となる。
- 副主枝（ふくしゅし）  
主枝から分かれた部分の枝をさす。
- 不定芽（ふていが）  
芽が判然としない、太い幹や枝から出てくる芽をいう。
- ふところ枝  
樹木固有の性質に逆らって、下方や樹冠内方に伸びる枝をさす。通常、切除の対象となる。
- 平行枝（へいこうし）  
同じ方向に伸びる上下二つの枝をさす。通常、切除の対象となる。
- 本年生枝（ほんねんせいし）  
前年生枝の定芽から伸びてきた枝をさす。土用枝（夏以降に伸びた枝。徒長枝になりやすい。「二番枝」ともいう）も含まれる。「当年生枝」、「新生枝」ともいう。

## や

- ゆ合促進処理（ゆごうそくしんしより）  
ゆ合とは、損傷を受けた材の周囲の組織が発達して巻き込みにより傷口を覆うことをいう。傷を受けた材ではゆ合により再び形成層や師部、樹皮などが回復するため樹木の健康にとっては好ましい。樹木治療の分野では、剪定箇所や傷口などに水分を含ませたピートモスやミズゴケなどを覆い、ゆ合を促進させる方法が試みられている。薬品ではチオファネートメチル剤（登録薬剤名：トップジンM ペースト）が病原菌や雨水の浸透を防ぎ、ゆ合組織の形成を促進するとされている。損傷部のゆ合と損傷箇所内部の材の腐朽とは関係がなく、ゆ合しても内部の材は腐朽している場合もあるとされているので注意が必要である。

用語集は以下の文献を参考に作成した。

- ・「仙台市街路樹マニュアル」（平成22年4月 仙台市建設局百年の杜推進部公園課）
- ・「平成26年度 街路樹診断マニュアル」（平成26年 東京都建設局公園緑地部）
- ・「街路樹剪定技術指針」（平成28年度 札幌市建設局みどりの推進部）
- ・「グリーンハンドブック」（平成12年 東京都政策報道室都民の声部情報公開課）

## 9. 卷末資料





## 9. 巻末資料

### 9.1 現状把握シート（案）

表9-1 現状把握シート(案)

項目		具 体 内 容					
環 境 条 件	管理者等	道路管理者		警察管区			
	立地特性	台地	低地	その他( )			
	沿道土地利用	オープンスペース(公共空き地) ビル街 近隣商店 住宅地 その他(工場等)					
	歩車道利用の特徴	具体内容を記述する。 例、駅前通りで歩行者利用が多い。地域の幹線道路で車の利用が多い。					
	幅員構成	街路全体幅員:	m	車道幅員: m 歩道幅員: m			
	競 合 物	空中施設	架空線の有無	高压線: m			
				低压線: m			
				電話線: m			
		その他の競合物	信号機、照明灯、電柱、アーケード、看板・広告、建築物、歩道橋、高架道路、その他( )				
	地上施設	交通標識、カーブミラー、その他( )					
地下施設	共同溝、上水管、下水管、ガス管、電線、その他( )						
断面構成							
並 木 の 状 態	統一性	樹形の統一	: 良	不良	その他、特記事項等 台風等の被害の有無 苦情の有無と内容等		
		樹高の統一	: 良	不良			
		下枝高の統一	: 良	不良			
		枝葉の密度の統一	: 良	不良			
	連続性	高い	低い(途切れが多い等)				
	樹木の傾き	無し	有り(原因:風の影響等)				
支柱の状況	機能している	機能していない(老朽化等)					
樹 木 の 状 態	植栽年度						
	樹 種						
	樹 計	自然樹形(〇〇型)	人口樹形(〇〇型)				
	形 状	平均タイプ	大きいタイプ		小さいタイプ		
		樹高	: m	樹高	: m	樹高	: m
		枝張り	: m	枝張り	: m	枝張り	: m
		下枝高	: m	下枝高	: m	下枝高	: m
		目通り	: m	目通り	: m	目通り	: m
		植栽位置	: m	植栽位置	: m	植栽位置	: m
	管理(剪定)状況	管理実績	:これまでの管理内容(整姿、整枝)と頻度等				
		実施されている剪定手法	:切り詰め 切り返し 枝おろし 枝抜き				
		瘤の有無と程度	:無 有(多い 中 少ない)				
		切り口からの小枝の発生状況	:無 有(多い 少ない)				
病虫害の有無と程度	無 有(病虫害名、程度:重度 中度 軽度) 腐れ有						

注:「植栽位置」は、歩車道境界から樹木の中心までの距離

出典:「大型街路樹の維持管理手法に関する共同研究報告書」(平成5年、建設省土木研究所)

## 9.2 ケーススタディ（ケヤキ）

■ 国道463号 ケーススタディ（ケヤキ）



初年一剪定前	初年一剪定後（剪定樹形）	1年後一剪定前	1年後一剪定後（剪定樹形）	3年後一剪定後（目標樹形）
<ul style="list-style-type: none"> <li>土壌条件が良好なため生育が旺盛で現況樹形より大きいものも見受けられるが、代表的なものを現況樹形とした。部分的には、樹冠全体の切り直し剪定が行われているが、ほとんどのが透堂剪定である。大きな樹形した切り口が、見受けられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高さ9mを目様に枝下ろし剪定を行う。大きな切開面が生じるため、切り口は殺菌剤もしくは殺菌剤の塗布が必要。</li> <li>電線ケーブルの支柱柱切断で出来た隙間した切り口の切り直しも行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>しだれ状に新出枝が旺盛に繁茂する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹冠を4.5mの高さまで剪定し上方枝も剪定を行う。</li> <li>剪定の枝下ろし剪定で生じた大きな切り口も樹形等が進行していないか確認し殺菌剤等の塗布を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3～4年後の樹形を剪定で樹形を整え目標樹形（理想的な樹形）になる。目標樹形は成長して運するため、剪定は樹高11m、株張り5mで剪定する。</li> </ul>

### 9.3 樹形再生の実施例

#### ■東京都杉並区

##### <樹形再生の状況>



剪定前  
(樹高 20m 程度)



剪定時 (H23 冬)  
(樹高 15m)



1 年目 (H24 初夏)  
(切り口から萌芽)



3 年目 (H26 夏)  
(早春に萌芽枝整理)

出典：「街路樹再生の手引き」(平成28年 国土交通省 国土技術政策総合研究所)

#### ■東京都江戸川区

**総合文化センター前  
街路樹クスノキの樹勢回復について**

- 現況 土壌環境や日照条件の影響により、樹勢の衰え  
(枝の先枯れ・樹形の変形・幹の生育不良等)
- 対象 クスノキ 15本(下図のとおり)
- 対策 ① 5年後の樹形を見据えた、新たな枝吹きのための強剪定  
(3年程は樹冠が乱れるが、毎年、整枝剪定の実施)  
② 地中の土壌を調べる試験掘削(状況により土壌改良予定)
- 時期 ① 平成24年6月11日から約1週間  
② 平成24年7月初旬から約1ヶ月  
(総合文化センター改修工事・休館中)
- 箇所図

- 剪定前の状況
- 剪定例(経年変化想定図)
- 剪定前  
初年度剪定位
- 初年度剪定
- 2~3年目剪定
- 管理目標樹形

江戸川区街路樹指針「新しい街路樹デザイン」より

- 土壌改良例(根系誘導耐圧基盤材の施工)

「根系誘導耐圧基盤材」を施工することで、根の伸長域が確保される  
(火山砂利と生育助材との混合物)

発注者 江戸川区土木部保全課街路樹係  
施工者

出典：「街路樹再生の手引き」(平成28年 国土交通省 国土技術政策総合研究所)